

地球温暖化防止

CO₂排出量の削減目標の達成に向けて、製造工程や輸送工程などにおいて、さまざまな取り組みを実施しています。

生産事業所およびオフィスでの省エネルギー活動

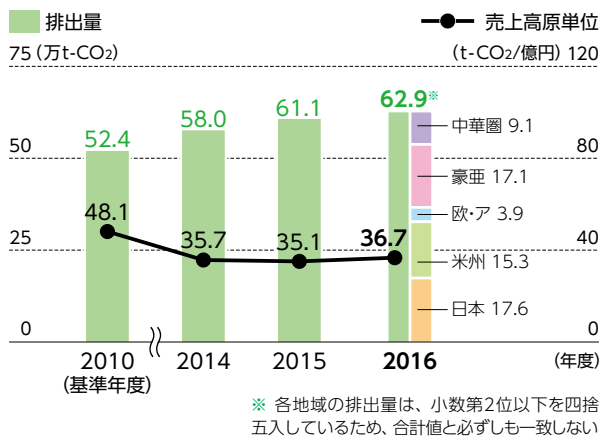
矢崎グループでは、「2020年度までにグローバルのCO₂排出量を、原単位で2010年度比20%削減」という目標を掲げ、省エネルギー活動に取り組んでいます。

2016年度はグローバルで約7,700トンの削減対策を実施しました。

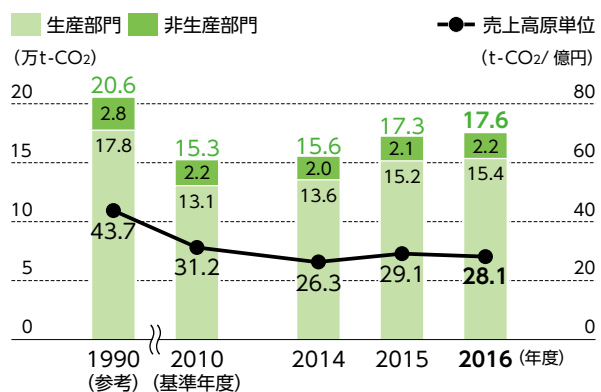
生産事業所では、設備の稼働時間の見直しや省エネルギータイプへの更新を行いました。また、アメリカでは政府の支援制度を活用して、LED照明を導入しました。オフィスでは、昼休みや休憩時の消灯の徹底やパソコンのECOモード導入により、従業員一人ひとりに省エネルギーの意識づけを継続的に推進しています。

2016年度の売上高原単位は、グローバルでは36.7トン-CO₂/億円で、2010年度比23.8%の削減となりました。国内矢崎グループでは、28.1トン-CO₂/億円で、2010年度比9.9%減となりました。

CO₂排出量の推移(グローバル)



CO₂排出量の推移(国内)



自社製品によるCO₂削減貢献

太陽熱利用機器や木質ペレットを燃料とした冷暖房機器はCO₂削減に寄与する製品です。『木質ペレット焚バイオアロエース』は、カーボン・ニュートラル[※]の考えのもと、木質ペレットを利用した世界初の冷暖房機で、化石燃料の消費を削減することにより1台あたり年間約30トンのCO₂削減効果があります。

また、デジタルタコグラフなどの計装機器を車両に搭載し運行を管理することにより、燃費の改善につながり、CO₂削減にも貢献しています。

これらの製品による2016年度のCO₂削減貢献量は11万トンとなり、2011年度からのCO₂削減貢献量は、累計で39.5万トンとなりました。

※カーボン・ニュートラル 燃焼や分解にともなって排出されるCO₂量と、自然界で森林や植物などに吸収されるCO₂量が同じ状態

グリーン物流の推進

国内の矢崎グループ各社では国の指針に基づく輸送エネルギー消費量原単位の削減活動を継続しています。

2016年度の国内物流にともなうCO₂排出量は前年度比2.7%減の1.9万トンとなり、輸送量(トンキロ)あたりのCO₂排出量は前年度比5.6%減の129g-CO₂/トンキロとなりました。これは輸送トラックのルート見直しや混載の推進による効率の向上と一部データ管理の精度向上を図った結果、効果の顕在化につながったためです。

物流部門の省エネルギー活動は、今後さらに困難になっていくと予想されますが、より環境に貢献できるよう、活動に取り組んでいきます。

Topics

現場レポート 世界の拠点から地球環境を守る

世界46カ国に展開する矢崎グループの現場では、従業員が一丸となりさまざまな環境保全活動に取り組んでいます。

今回はそのなかから工夫を凝らした活動をピックアップしてご紹介します。

ベトナム 環境配慮型工場の新設

矢崎EDSベトナム(YEV)は、2017年7月に自動車用低圧電線の新工場を竣工しました。新工場は構想段階から環境配慮を重視して建設を進めてきました。

製造設備には、省エネルギー効果の高い燃線機^{よりせん}を導入したことにより、従来の設備に比べCO₂排出量を年間682トン削減することが可能となりました。

YEVの所在地であるホーチミンは、熱帯モンスーン気候に属し年間を通して気温が高く、さらに生産設備からの排熱もあるため、工場内の温度上昇を抑える必要がありました。そこで、風通しをよくして換気効率を最大限考慮した天井排気の仕組みを導入し、加えて天窓による自然採光も取り入れました。その結果、工場内の温度上昇を抑制しながら自

然光で十分な明るさを確保し、従業員が明るく快適に作業できる環境を実現しました。

この取り組みは環境省「二国間クレジット制度資金支援事業」に選定され、日本、ベトナム両国の温室効果ガス削減目標の達成に寄与することが期待されています。



ベトナム新電線工場全景

ルーマニア グリーン電力の使用開始

矢崎ルーマニア(YRL)が位置するプロエスティ工業団地(PIP)の電力は、PIP管理者が一括管理しており、これまで化石燃料による発電に頼っていました。YRLは、この発電が地球温暖化に与える影響は大きいと考え、PIP管理者に自然エネルギーで発電された「グリーン電力」への転換交渉を行ってきました。その結果、2017年3月にグリーン電力への転換が実現し、YRLだけでなくPIP内の企業39社において、グリーン電力を受けることができるようになりました。この取り組みを通じて、CO₂排出量をYRLで年間1,302トン、PIP企業全体で18,690トン削減することができました。今後は、ルーマニアにあるほかの工場に広げていく予定です。

アメリカ 省エネルギープロジェクト

アメリカには省エネルギーに取り組む企業を政府が支援する制度があります。この制度は、省エネルギーを目的とした改修工事費用を政府が立て替え、改修工事により削減できた光熱費を企業が改修工事代金の返済として所定期間政府に払い戻す仕組みです。矢崎ノースアメリカインク(YNA)もこの制度を導入し、アメリカ北東地域の8事業所において228Wの蛍光灯1,242個を120WのLED照明に変更しました。これにより、導入前に比べて電力消費量が月平均で47%削減され、77,900kWhとなりました。